傷病名

診療開始日

令和6年11月1日

社保シリーズ

単冠歯冠修復から 2年以内のブリッジ作製

3

今回は、単冠の歯冠修復から2年以内にブリッジを作製する症例について解説する。2024年6月診療報酬改定(改定)において、クラウン・ブリッジ維持管理料(補管)の対象補綴物、歯冠修復物の適応が変更となり、金属(チタンを除く)単冠歯冠修復物が補管の対象外となった。

症例解説

症例は、初診時に 5 にう蝕を認め %冠を装着している (12/6)。 %冠は小臼歯への適応が原則である。生活歯であるブリッジ支台の場合に限り、大臼歯にも使用できる。 %冠は補管の対象外である。補管は新たに自院で製作し装着したTiC、前装TiC、HJC、歯CAD、またはブリッジが対象となる。改定により、 %冠をはじめ、 ¾冠、FMC、前装MC (いずれも単冠に限る)が補管の対象外となった。

8月に 6 が歯根破折し、再来院 (8/4)。5番は2年間の補管対象 でないため、 ⑤60 のブリッジ作製 が可能となる。5番はブリッジの支台 のため小臼歯であっても前装MCで歯 冠修復できる。前装MCは前歯とブリ ッジ支台の小臼歯にのみ使用できる。 改定で第一小臼歯までであった適用範 囲が第二小臼歯まで拡大された。1歯 欠損で1歯以上の生活歯を支台とする 場合、接着冠を使用できるため7番は 接着冠で接着ブリッジを作製してい る。レセプトの歯冠修復および欠損補 綴その他欄に、支台歯の部位と「接着 冠」を記載する。なお、接着ブリッジ が1つで、傷病名部位から明らかに接 着冠の部位が特定できる場合は省略で きる。

単冠の金属冠修復の場合、2年間維持できるか判断に迷う症例に対して、 ブリッジを選択していたが、単冠修復 が補管の対象から外れることにより、 歯冠修復の選択に幅が広がった。

75歳以上の窓口負担配慮措置 **9月末終了**

2022年10月、75歳以上であって「一定以上の所得」がある被保険者の窓口負担が1割から2割へと引き上げられた。それに伴い、激変緩和措置として1割負担との差額を3,000円におさえる配慮措置がとられてきた。

9月末で配慮措置は終了となる。10月以降は、75歳以上であって「2割区分」の窓口徴収が9月までと異なるので注意されたい。

信 根ハセツ 令和7年8月4日
 ⑤ C, %冠フテキ 令和7年9月3日
 ⑦ C 令和7年9月10日
 ⑤ 6 ⑦ MT 令和7年9月10日
 〔年齢〕42歳男性
 〔主訴〕左上奥歯が痛い。なるべく削らずに治してほしい
 〔所見〕左上5舌側咬頭破折

部

5

%冠をはじめ、FMC、前装MCが 補管の適用外となった

再初診で症状も違うため、デンタル58点が算定できる

	月日	部 位	療法・処置		点 数
	12/6		再診	(58)	58
			歯管 文(内容略)	(100 + 10)	110
-		5	12%金パラ%冠 set	(917 + 45)	962
			接着材料I・接レセ自(SAルーティング)	(38)	38
-	~~~~	~~~~~	12月分 1,168点	~~~~	

接着材料 I・接レセ自(SAルーティン 12月分 1.168点	(267) (58) 存は困難と判断 BmL (10) (270) (42) (11) (4) 1日3回 3日分 (80+10)	38 267 58 / 10 270 42 11 4 / 90 58 / 110
8/4 初診	(58) 存は困難と判断 8mL (10) (270) (42) (11) (4) 1日3回 3日分 (80+10) (58)	58 / 10 270 42 11 4 / 90 58
 ★ Lefull Right Right	(58) 存は困難と判断 8mL (10) (270) (42) (11) (4) 1日3回 3日分 (80+10) (58)	58 / 10 270 42 11 4 / 90 58
 左上6腫脹、歯根破折を認める。保し、抜歯 浸麻 OA + 歯科用キシロカインCt 1.8 抜歯 処方料 調剤料薬情 (内 サワシリンカプセル250 1回1 C 1 歯管 文 (内容略) 8月分 1,168点 9/3 再診 「5 ブリッジ支台として%冠では脱離まるため前装冠にする歯管文(内容略) 浸麻 OA + 歯科用キシロカインCt 1.8 物冠除去う蝕間P cap 再診 「5 生PZ (前装MC) 「7 生PZ (接着冠) 「5 Rコート (ハイブリットコートⅡ)ブリッジ支台歯形成加算支台歯間の平行関係を確認 	存は困難と判断 BmL (10) (270) (42) (11) (4) 1日3回 3日分 (80+10) (58)	10 270 42 11 4 90 58
し、抜歯 浸麻 OA+歯科用キシロカインCt 18 技歯 処方料 調剤料 薬情 (2) サワシリンカプセル250 1回1 C ご歯管 文 (内容略) 8月分 1,168点 再診 [5 ブリッジ支台として%冠では脱離 まるため前装冠にする 歯管 文 (内容略) 浸麻 OA+歯科用キシロカインCt 1.8	SmL (10) (270) (42) (11) (4) 1日3回 3日分 (80+10) (58)	270 42 11 4 90 58
 浸麻 OA + 歯科用キシロカインCt 1.8 抜歯 処方料 調剤料 薬情 (内 サワシリンカプセル250 1回1 C : 歯管 文 (内容略) 8月分 1.168点 9/3 再診 「5 ブリッジ支台として%冠では脱離まるため前装冠にする歯管 文 (内容略) 浸麻 OA + 歯科用キシロカインCt 1.8 %冠除去う蝕間P cap 再診 「5 使PZ (前装MC) 「7 生PZ (接着冠) 「7 生PZ (接着冠) 「5 7 Rコート (ハイブリットコートⅡ) ブリッジ支台歯形成加算支台歯間の平行関係を確認 	(270) (42) (11) (4) 1日3回 3日分 (80+10) (58)	270 42 11 4 90 58
技歯	(270) (42) (11) (4) 1日3回 3日分 (80+10) (58)	270 42 11 4 90 58
 処方料 調剤料 薬情 (例 サワシリンカプセル250 1回1 C : 歯管 文 (内容略) 8月分 1,168点 9/3 再診 「5 ブリッジ支台として%冠では脱離まるため前装冠にする歯管 文 (内容略) 浸麻 OA + 歯科用キシロカインCt 1.8 %冠除去う蝕 間 P cap 9/10 再診 「5 生PZ (前装MC) 「7 生PZ (接着冠) 「5 7 Rコート (ハイブリットコートⅡ) ブリッジ支台歯形成加算支台歯間の平行関係を確認 	(42) (11) (4) 1日3回 3日分 (80+10) (58) たの可能性が高	42 11 4 / 90 58
 調剤料 薬情 (内容略) 8月分 1,168点 9/3 再診 (上では)のでは)のでは(のでは)のでは)のではのでは)のです。 (上で)のでは)のではのでは)のではのでは)のです。 (上で)のでは)のでは、のののでは、のののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のので	(11) (4) 1日3回 3日分 (80+10) (58) たの可能性が高	11 4 90 58
 薬情 (内 サワシリンカプセル250 1回1 C ま 歯管 文 (内容略) 8月分 1,168点 9/3 再診 「5 ブリッジ支台として%冠では脱離まるため前装冠にする歯管 文 (内容略) 浸麻 OA+歯科用キシロカインCt 1.8 %冠除去う蝕 間 P cap 9/10 再診 「5 生PZ (前装MC) 「7 生PZ (接着冠) 「5 7 Rコート (ハイブリットコートⅡ) ブリッジ支台歯形成加算支台歯間の平行関係を確認 	(4) 1日3回 3日分 (80+10) (58) (58)	4 / 90 58 /
 (内 サワシリンカプセル250 1回1 C 対策管 文 (内容略) 8月分 1,168点 9/3 再診 「5 ブリッジ支台として%冠では脱離まるため前装冠にする歯管 文 (内容略) 浸麻 OA+歯科用キシロカインCt 1.8 状冠除去う蝕間Pcap 再診 「5 生PZ (前装MC) 「7 生PZ (接着冠) 「5 Rコート (ハイブリットコートⅡ)ブリッジ支台歯形成加算支台歯間の平行関係を確認 	1日3回 3日分 (80+10) (58) たの可能性が高	90
歯管 文 (内容略) 8月分 1,168点 9/3 再診 5 ブリッジ支台として%冠では脱離 まるため前装冠にする 歯管 文 (内容略) 5 浸麻 OA+歯科用キシロカインCt 1.8	(80+10) (58) Eの可能性が高	58
8月分 1,168点 9/3 再診 <u>5</u> ブリッジ支台として%冠では脱離まるため前装冠にする歯管文(内容略) <u>5</u> 浸麻 OA+歯科用キシロカインCt 18 %冠除去う蝕間Pcap 9/10 再診 <u>5</u> 生PZ(前装MC) <u>7</u> 生PZ(接着冠) <u>5</u> Rコート(ハイブリットコートⅡ) ブリッジ支台歯形成加算 支台歯間の平行関係を確認	(58)	58
9/3 再診	色の可能性が高	/
<u>5</u> ブリッジ支台として%冠では脱離まるため前装冠にする歯管 文 (内容略) <u>5</u> 浸麻 OA+歯科用キシロカインCt 1.8	色の可能性が高	/
まるため前装冠にする 歯管 文 (内容略) 5		/
歯管 文 (内容略) 5 浸麻 OA+歯科用キシロカインCt 1.8	(100 + 10)	110
5 浸麻 OA+歯科用キシロカインCt 1.8 	(100 + 10)	110
1	(======================================	110
う蝕 間 P cap 9 / 10 再診 ⑤ 6 ⑦ 補診 上5 生PZ(前装MC) 「7 生PZ(接着冠) 下7 Rコート(ハイブリットコートⅡ) ブリッジ支台歯形成加算 支台歯間の平行関係を確認	8mL (30 + 10)	40
間 P cap 9 / 10 再診 (5 6 ⑦ 補診 上5 生PZ (前装MC) 上7 生PZ (接着冠) 上5 Rコート (ハイブリットコートⅡ) ブリッジ支台歯形成加算 支台歯間の平行関係を確認	(48)	48
9 / 10 再診 (3 6 ⑦ 補診 (5 生PZ (前装MC) (7 生PZ (接着冠) (5 7 Rコート (ハイブリットコートⅡ) ブリッジ支台歯形成加算 支台歯間の平行関係を確認	(18)	18
(5) 6 ⑦ 補診 (5) 生PZ (前装MC) (7) 生PZ (接着冠) (5) 7 Rコート (ハイブリットコートⅡ) ブリッジ支台歯形成加算 支台歯間の平行関係を確認	(38)	38
<u>5</u> 生PZ(前装MC) <u>7</u> 生PZ(接着冠) <u>5 7</u> Rコート(ハイブリットコートⅡ) ブリッジ支台歯形成加算 支台歯間の平行関係を確認	(58)	58
上7 生PZ (接着冠) 上5 7 Rコート (ハイブリットコートⅡ) ブリッジ支台歯形成加算 支台歯間の平行関係を確認	(90)	90
► 2	(646)	646
ブリッジ支台歯形成加算 支台歯間の平行関係を確認	(796)	796
支台歯間の平行関係を確認	(46×2)	92
	(20×2)	40
		/
連imp(寒天+アルジネート)	(282)	282
BT	(76)	76
リテーナー	(100)	100
接着材料Ⅲ (ハイボンドソフト)	(4×2)	8
9/24 再診	(58)	58
⑤ 6 ⑦ 接着Br set	(150)	150
→ 内面処理加算 2	(45)	45
<u>5</u> 12%金パラ前装MC	(2181)	2181
7 12%金パラ接着冠	(2101)	1274

補診算定にあたり必要なカルテ記載事項 製作を予定する部位 欠損補綴物の名称 欠損部の状態 欠損補綴物の設計など

生PZを行った歯に対して、形成から装着まで1回に限り算定でき

接着Brの装着に際しサンドブラスト処理および金属プライマー処理した場合は装着料に45点を加算する

補管の趣旨などを記載した文書を 患者に提供し、説明を行う。文書 の写しをカルテに添付する

10月から 医療DX推進体制整備加算の変更について

医療DX推進体制整備加算(医DX) および在宅医療DX情報活用加算(在DX)の施設基準が10月から変更となる。①「電子カルテ情報共有サービス」の活用に関する要件の経過措置が来年5月末まで延長②医DXの、マイナ保険証利用率の実績要件が変更となる(右表)。

マイナ保険証利用率の実績については、今年10月と来年3月の2段階で引き上げられる。

電子如	電子処方箋			
あり	なし	2025年 4月~9月		
医DX 1 (11点)	医DX4 (9点)	45%		
医DX 2 (10点)	医DX5 (8点)	30%		
医DX3 (8点)	医DX6 (6点)	15%		

|6 12%金パラ前装ポンティック

接着材料I・接レセ自(SAルーティング)

9月分 8,504点

適用時期 2025年10月 ~2026年2月 60% 40% 25%

(1890)

(330)

 (38×2)

1890

76